

健診検査センターニュース

No.574 号

運営委員会より

4月20日（木）平成29年度第1回の運営委員会を開催いたしました。

1. 特定健診3月の実施件数は、下記のとおりでした。

	3月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 3月現在 26.66% / 目 標 30.0%
函館市国保	2,638人（△143人 94.9%）	13,960人（△ 827人 94.4%）	
後期高齢者	1,149人（ 108人 110.4%）	6,723人（ 390人 106.1%）	
その他	338人（△ 42人 88.9%）	2,283人（△ 234人 90.7%）	
合 計	4,125人（△ 77人 98.2%）	22,966人（△ 671人 97.2%）	

実施機関：104 施設／登録機関 101

- 28年度累計は、国保で827人の減となり、目標の受診率30%には届きませんでした。一方、後期高齢者の受診者は390人の増となりました。
- 28年度「函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者」に関する「特定健康診査実施医療機関の登録」は、4月3日現在で102医療機関となりました。
- 4月25日付で「29年度特定健康診査等の実施要項」ならびに「協会けんぽの窓口負担」について登録機関宛ご案内いたしました。ご不明の点がございましたらご連絡の程お願い申し上げます。

2. 29年3月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	3月（前年同月比）	28年度累計（前年比）
一般検査収入	88.2 %	88.6 %
健診収入	114.2 %	104.0 %
合 計	100.5 %	95.6 %

3. その他

医師の採用1名、臨時職員の採用3名、再雇用職員の採用1名、パート職員の採用1名、参事職員1名、再雇用職員1名の更新のほか臨時職員並びにパート職員の雇用更新についての報告がありました。

《 ちょっと一言 》

3月に千葉県我孫子市でベトナム国籍の小学3年生女児が殺害されるという痛ましい事件が起きました。女児が行方不明というニュースを聞いた時点で、性暴力被害を危惧していましたが、大変残念なことにやはり性暴力被害にあった上で殺害された可能性が高そうです。先月も触れましたが、3月に発足した函館性暴力被害防止対策協議会の一番の目的は地域で子どもを性暴力から守ることです。

性暴力については、世間に広まっている誤った思いこみがあります。性暴力の被害者は挑発的な服装や行動が原因で知らない人から加害を受けるとというのがいわゆる「レイプ神話」ですが、実は加害者が被害者に選ぶのは「大人しそうで被害を訴えなさそうな」人です。またレイプの加害者は多くが知り合いであり、その犯行は計画的だと言われています。我孫子市の事件の容疑者は黙秘しているようですが、この事件もまさに子どもが絶対的に信頼している顔見知りの大人が犯行に及んだ可能性が強く疑われています。

性暴力被害者支援活動をされている看護師の山本潤さんは、自身が実父から受けた性暴力を「13歳、「私」をなくした私 性暴力と生きることのリアル」という本に書いています。家庭内で家族から性暴力の被害を受けた子どもは、自分に何が起こったかわからないまま、被害を受け続けます。被害を訴えると家族は崩壊するため、被害者は自分のせいで家族が壊れてしまったと自責の念を持ちます。本来は全て加害者が悪いのに、被害者は自分に責任を感じ、被害を忘れようと苦しむうちにトラウマになってしまい、何十年も辛い時間を過ごしています。

子どもの性被害は本来あってはならないことですが、現実には児童ポルノの所持や売買が行われています。私が鑑定を依頼される児童ポルノ（被写体が18歳未満か否かを医学的に鑑定）には、明らかに10歳未満の子どもたちが被写体になっている例も珍しくありません。鑑定をしていて本当に悲しくなります。

性暴力被害に遭う子どもがいなくなること、性暴力加害をなくすことが、函館性暴力被害防止対策協議会の目的です。

（文責 小葉松洋子）

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571 ・ FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp